

が づ に ち か れ い わ ね ん ど と う し ょ よ さ ん
2月9日(火) 令和4年度当初予算

き し ゃ か い け ん は っ ぴ ょ う な い よ う
記者会見 発表内容

そ れ で は、 道 の 駅 「く る くる な る と」 の 開 駅 日 の 決 定 に つ い て 説 明 さ
み ち え き か い え き び け っ て い せ つ め い

せていただきます。

こ れ ま で 本 市 で は、 交 流 人 口 拡 大 と 地 域 活 性 化 を 図 る こ と を 目 的 と
ほ ん し こ う り ゅ う じ ん こ う か く だ い ち い き か っ せ い か は か も く て き

し て、 大 津 町 の 国 道 11 号 沿 い に、 道 の 駅 整 備 を 進 め て き ま し た。
お お つ ち ょ う こ く ど う ご う ぞ み ち え き せ い び す す

本 事 業 に つ い て は、 名 実 と も に 本 市 が 「四 国 の 玄 関 口」 と な る べ く 進
ほ ん じ ぎ ょ う め い じ つ ほ ん し し こ く げ ん か ん ぐ ち す す

め て ま い り ま し た、「四 国 の ゲ ー ト ウ ェ イ 推 進 事 業」 の 中 核 プ ロ ジ ェ ク ト
し こ く す い し ん じ ぎ ょ う ち ゅ う か く

で あり、 国 土 交 通 省 と の 一 体 型 の 道 の 駅 と な り ま す。
こ く ど こ う つ う し ょ う い っ た い が た み ち え き

れ い わ ね ん が づ ぞ う せ い こ う じ ち ゃ く し ゅ い こ う け い か く よ て い ち げ ん ち く
令和2年11月、造成工事に着手以降、計画予定地において建築

こうじとう けいかく しんちよく たび かんけいきかん ちょうせい ととの
工事等が計画どおり進捗しており、この度、関係機関との調整が整っ

れいわ ねん がつ にち かいえきび けつてい
たため、「令和4年4月29日」を開駅日に決定いたしました。

みち えき ぜんこくてき にんちど たか がつ ひかくてききこう
道の駅は全国的にも認知度は高まっており、4月は比較的気候が

あんてい しんがた かんせんしょう かんせんじょうきょう こうりよ
安定していますので、新型コロナウイルス感染症の感染状況も考慮す

ひつよう かんこうとう こうりゅうかつどう かっぱつ がつ
る必要がありますが、観光等の交流活動が活発になってくる4月にオ

りようしゃ みち えき りようしゃ にぎ
ープンすることで、利用者・道の駅の両者にとってさらなる賑わいづくり

つな かんが
に繋がればよいと考えています。

つぎ しせつ おも とくちょう てん せつめい
次に、施設の主な特徴として、3点ご説明いたします。

てんめ なるときんとき どう ちいきとくさんぶつ うんえい
まず、1点目ですが、鳴門金時やレンコン等の地域特産物と運営

じぎょうしゃ かつよう しよく みち
事業者のノウハウを活用した「食のテーマパーク」をコンセプトに道の

えき しょうひん ほうふ しなぞろ おお
駅「くるくる なると」にしかない、オリジナル商品と豊富な品揃えで、多

ち い きじゅうみん かんこうきやくそうほう もくてきち め ぎ
くの地域住民・観光客双方にとって目的地となることを目指していま
す。

つうじょう みち えき ひかくてきちゅうこうねんそう かた りよう おお いっぱんてき
通常の道の駅では、比較的中高年層の方の利用が多いのが一般的

わか せだい とう つう じょうほうはっしんりよく かくさんりよく も
ですが、若い世代は、SNS等を通じた情報発信力・拡散力を持たれて

わか せだい そきゅう しょうひんかいはつ おこな わか せだい
いますので、若い世代に訴求する商品開発も行うことで若い世代の

もくてきち か はか そうじょうこうか さら しゅうきやく はか かんが
目的地化も図り、その相乗効果により更なる集客を図りたいと考

ています。

しょうひんかいはつ てんぼづく いっぱんてき みち えき こと
商品開発や店舗作りについては、一般的な道の駅とは異なる、

こせいてき しせつ び たの おも
個性的な施設になるので、オープン日を楽しみにいただきたいと思います

ます。

つづ てんめ けいかくち ほんし もっと こうつうりよう おお こくどう
続いて、2点目ですが、計画地は、本市で最も交通量の多い国道11

ごうぞ こうべあわじなるとじどうしゃどう とくしまじどうしゃどう たかまつじどうしゃどう
号沿いにあり、神戸淡路鳴門自動車道、徳島自動車道、高松自動車道

ぶんきてん きんせつ つうきん つうがくとう ひと うご こうばいかつどう ぶつりゅう
の分岐点に近接しており、通勤・通学等の人の動き、購買活動や物流

とう けいざいかつどう ちいきかん こうりゅう れんけい そくしん どうろこうつう ようしょう
等の経済活動、地域間の交流・連携を促進する道路交通の要衝となっ

ています。

ほんしせつ ひがし うずしお にし れいざんじ かん ちゅうかん
また、本施設は、東の渦潮と西の霊山寺やドイツ館のちょうど中間

いち
に位置しています。

ほんしせつ かんこうきゃく つうこうきゃく たいざい むす つ
こうしたことから、本施設を観光客や通行客を滞在に結び付ける、

しない かんこう めいしょ つな いち なると おとず
市内の観光エリアや名所を繋ぐハブとして位置づけており、鳴門に訪

かた さいしょ た よ ち かんが
れた方の最初の立ち寄り地として考えています。

しせつじたい もくてきちか めぎ みち えき ほんしせつ
施設自体の目的地化を目指す道の駅ですので、まずは、本施設に

た よ なるとし かんこうち めいしょ た よ
立ち寄ってから、鳴門市の観光地や名所に立ち寄っていただきたいと

かんが
考えています。

さいご てんめ しんがた かんせんしょう せかいてき
最後に、3点目ですが、新型コロナウイルス感染症により、世界的に

ぎじゆつ かつよう はんばいほうほう ふきゆう いっき かそく
もデジタル技術を活用した販売方法やコンテンツの普及が一気に加速
しました。

みち えき しんがた かんせんしょう ふ じぎょう
道の駅としては、新型コロナウイルス感染症を踏まえたデジタル事業

じぎょう ちゃくもく てんぼじぎょう
としてEC事業にも着目しており、リアルの店舗事業だけでなく、デジタ

じぎょう のうぜいじぎょう りょうりつ ちさんちしょう
ル事業としてのふるさと納税事業も両立することで、「地産地消」のほ

ぜんこく しょうひしゃ たいしょう なんと とくさんひん よ しせつ
か、全国の消費者を対象に鳴門の特産品や良いものをPRできる施設

めざ
を目指しています。

みち えき のうぜいじぎょう じっし みち えき おとず
また、道の駅がふるさと納税事業を実施することで、道の駅に訪れ

けいき のうぜい おこな のうぜい
たことを契機にふるさと納税を行っていただいたり、ふるさと納税を

けいき なんとし おとず ちゅうちようき かんてん ちいきかつせい
契機に鳴門市に訪れていただくなど、中長期の観点で地域活性化や

こうりゅうじんこうかくだい そうじょうこうか う かんが
交流人口拡大の相乗効果が生まれると 考 えています。

ちいきない さんびん はくつ しんしょうひん かいはつとう ちいきがい しゅうえき
地域内の製品の発掘・新商品の開発等により、地域外からの収益を

ちいきない よ こ ちいきしょうしゃきのう みち えき さんぎょうしんこう
地域内に呼び込む地域商社機能をもった道の駅として、産業振興の

きよてん
拠点となります。

と く しこく げんかんぐち みち えき
こうした取り組みにより、「四国の玄関口」にある道の駅として、

しこく にしにほん だいひょう みち えき めぎ
四国や西日本を代表する道の駅を目指してまいります。

みち えき しょく かんこう のうすいさんぶつ ほんし
そして、道の駅が「食」「観光」「農水産物」といった本市のポテンシャ

いちだん ひ だ ちいきかっせいか きぼくざい かつよう かんが
ルを一段と引き出すことで、地域活性化の起爆剤に活用したいと 考 え

み す こうりゅうじんこうかくだい きよてん うんえい
ており、アフターコロナも見据えた交流人口拡大の拠点として運営して

まいります。

いじょう みち えき かいえきび けつてい せつめい
以上で、道の駅「くるくる なる」との開駅日の決定についての説明を

お
終えさせていただきます。

くば たてが しりょうれいわ ねんどとうしょよさん
それでは、お配りしております、縦書きの資料令和4年度当初予算

あん がいよう らん
(案)の概要をご覧ください。

め れいわ ねんどよさんへんせい きほんほうしん
まず、1ページ目の 令和4年度予算編成の基本方針であります。

ほんし ざいせいじょうきょう じんこうげんしょう しんがた かんせんしょう えいきょう
本市の財政状況は、人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響

さいにゆう こんかん しぜい れいわ ねんどいぜん
などにより、歳入の根幹をなす市税においては、令和2年度以前の

すいじゆん かいふく みこ なか さいしゆつめん しゃかいほしょう
水準にまで回復することが見込めない中、歳出面では社会保障

かんけいひ ぞうかけいこう こうさいひ たか すいじゆん
関係費が増加傾向にあるとともに、公債費についても高い水準で

すいい いぜん らっかんし じょうたい
推移するなど、依然として楽観視できる状態ではありません。

くわ ちょうきか しんがた かんせんしょう かんせんかくだいぼうし
加えて、長期化する新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と

しゃかいけいぎいかつどう りょうりつ はか しんちょうしゃせいびじぎょう だいきぼ
社会経済活動の両立を図りつつ、「新庁舎整備事業」などの大規模

じぎょう と く じぞくかのう けんぜんざいせい こうちく めぎ
事業に取り組んでいくことから、持続可能な健全財政の構築を目指す

だいろくじなるとしそうごうけいかく こうききほんけいかく みらい
とともに、「第六次鳴門市総合計画 後期基本計画」や「なると未来づく

そうごうせんりやく かか じゅうてんじぎょう せっきよくてき てんかい
り総合戦略2020」に掲げる重点事業について、積極的に展開し、

ほんし しょうらいとしぞう じつげん む と く
本市の将来都市像の実現に向け取り組んでいかなければなりません。

れいわ ねんどとうしょよさん けっこんせいかつ にんしん
こうしたことから、令和4年度当初予算では、結婚生活から妊娠、

しゅっさん こそだ きょういく かく
出産、子育て、教育までの各ステージをサポートする「なると まるごと

こそだ おうえん だいななじなるとしそうごうけいかく さくてい
子育て応援パッケージ」をはじめ、「第七次鳴門市総合計画」の策定

と し けいかく みなお およ りちてきせいかけいかく さくてい
や、「都市計画マスタープラン」の見直し及び「立地適正化計画」の策定

なると つく ひつよう しさく じゅうてん お
など、『あらたな鳴門』を創るために 必要となる施策に重点を置いた

よさんへんせい おこな
予算編成を行いました。

つづ よさん きぼ せつめい
続きまして、予算規模についてご説明いたします。

れいわ ねんど いっぽんかいけいとうしょよさん おく まんえん
令和4年度の一般会計当初予算は277億7,700万円となり、

ぜんねんどとうしょよさん ひかく おく まんえん りつ げん
前年度当初予算と比較して、12億5,300万円、率にして4.3%の減
となりました。

がいよう とくべつかいけい しりょう
なお、概要や特別会計につきましては、資料の2ページから8ペー

きさい いちどく さいわ
ジに記載しておりますので、ご一読いただければ幸いです。

こんかい とうしょよさん しゅようしきく
また、9ページから28ページが今回の当初予算にかかる主要施策

いちらん
の一覧となっております。

つづ れいわ ねんどとうしょよさん あん およ れいわ ねんど がつほせいよさん
続きまして、令和4年度当初予算(案)及び令和3年度3月補正予算

あん じゅうてんじぎょう よこが しりょう せつめい
(案)の重点事業については、横書きカラーの資料でご説明いたしま
す。

らん
1ページをご覧ください。

こそだ おうえん じぎょう
まず、「なると まるごと 子育て応援パッケージ」事業についてであり

ます。

けんないずいいち こそだ おうえんと し めぎ れいわ ねんど ねんど
県内随一の子育て応援都市を目指し、令和4年度から7年度までの

ねんかん こそだ せたい ていじゅうそくしんしさく しゅうちゅうじっしきかん いち
4年間を「子育て世帯 定住促進施策の集中実施期間」と位置づけ、

けっこん しんせいかつ にんしん しゅっさん こそだ じゅうたくしゅとく かく こ
結婚・新生活、妊娠・出産、子育て・住宅取得の各ステージを「子どもフ

してん きょうりよく しえん こそだ せだい ていじゅう
アースト」の視点から強力に支援することにより、子育て世代の定住

じんこう かくほ はか
人口の確保を図ります。

じぎょうひそうがく おく まんえん らん かく
事業費総額は 1億7,800万円 であり、ご覧のとおり、各ステージに

あら しきく すいしん
において、新たな施策を推進してまいります。

ほんじぎょう こべつ じぎょう せつめい
これより、本事業の個別の事業について説明いたします。

らん
2ページをご覧ください。

けっこん しんせいかつ じゅうたくしゅとく かかわ じぎょう
まず、結婚・新生活、住宅取得に係る事業でございます。

けっこんしんせいかつ しえんほじょきん
1つめは、「なると結婚新生活 支援補助金」についてであります。

ふうふ さいいか しんこんせたい しんせいかつ はじ ひつよう
夫婦ともに39歳以下の新婚世帯が、新生活を始めるにあたり必要

ちんたいじゅうたく しききん れいきん ちゅうかいてすうりょう ひ こ ひよう
となる賃貸住宅の敷金や礼金、仲介手数料のほか、引っ越し費用など

しえん
を支援します。

しんこんせたい やちんほじょきん
2つめは、「なると新婚世帯 家賃補助金」についてであります。

ふうふ さいいか しんこんせたい たいしょう みんかんちんたいじゅうたく やちん
夫婦ともに39歳以下の新婚世帯を対象に、民間賃貸住宅の家賃の

いちぶ さいだい ねんかんぶんしえん
一部を最大2年間分支援します。

ていじゅうそくしん じゅうたくしゅとくほじょきん
3つめは、「なると定住促進 住宅取得補助金」についてであります。

し ない じゅうたく けんせつ こうにゆう ふうふ さいいか
市内で住宅を建設、または購入した夫婦のいずれかが、39歳以下

せたい たい しんちく ぼあい まんえん ちゅうこじゅうたくこうにゆう ぼあい
の世帯に対し、新築の場合は30万円、中古住宅購入の場合は20

まんえん こ にんずう おやせたい どうきよ きんきよ し がい
万円をベースに、子どもの人数や親世帯との同居・近居、市外からの

てんにゆう かさんようけん くわ さいだい まんえん しえん
転入などの加算要件を加え、最大100万円を支援します。

こんいんび ねんれい しょとくなど こま ようけん せってい よてい
なお、いずれも婚姻日や年齢、所得等の細かな要件を設定する予定

ぼしゅう さい もう こ けんとう しみん みなさま
でありますので、募集の際には、申し込みを検討される市民の皆様

つた しゅうちこうほう つと
わかりやすくお伝えできるよう、周知広報に努めてまいります。

らん
3ページをご覧ください。

4つめは、『赤ちゃん授業』についてであります。

結婚をして、まだ子どものいない「未来のパパやママ」に対し、子育て

て中のパパやママ、赤ちゃんとふれあう「赤ちゃん授業」を実施するこ

とにより、妊娠・出産・育児について考え、親になる準備や子育てを

視野に入れた「自分達のライフプラン」を具体化していくことを応援しま
す。

5つめは、『子育て世代のライフプランニング応援事業』についてで

あります。

結婚等により新たなライフステージを迎えるにあたり、妊娠・出産・

子育て・住宅取得をはじめとしたライフプランや家計管理、プレ コンセ

プションケアに関するセミナー等を実施することにより、鳴門で生きる

こそだ せだい みらい せいかつ かんが あんてい せいかつ
子育て世代の、未来の生活を考えるきっかけづくりと安定した生活

せっけい おうえん
設計を応援します。

らん
4ページをご覧ください。

つぎ にんしん しゅっさん しゅうがくまえ こうこうせい かか じぎょう
次は、妊娠・出産・就学前から高校生までに係る事業でございます。

にんしん しゅっさん あんしん こ う ぞだ
妊娠・出産のステージでは、安心して子どもを産み育てることができ

じよせいじぎょう じっし
るよう、3つの助成事業を実施します。

ふいくしょう ちりょうしえんじぎょう
はじめに、「不育症 治療支援事業」についてであります。

れいわ ねん がつ にちいこう こくない いりょうきかん う ふいくしょうけんさおよ
令和4年4月1日以降に、国内の医療機関で受けた不育症検査及び

ちりょう よう いりょうひ じ こ ふたんぶん かい まんえん じょうげん
治療に要した医療費の自己負担分について、1回あたり30万円を上限

じよせい
に助成いたします。

かい けんさ しゅうりょう けんさ ご しゅっさん ともな
ここでの「1回」とは、検査の終了まで、または検査後、出産に伴い

ちりょう しゅうりょう しゅっさん りゅうざん しざん ふく
治療が終了するまでをさしており、「出産」には流産・死産を含みま
す。

じよせい たいしょう かた ごうけい かいじょう りゅうざん しざん きおう
助成の対象となる方は、合計2回以上の流産、死産の既往があり、

ふいくしょう しんだん じじつこん ふく ふうふ ふうふ
不育症と診断されている事実婚を含む夫婦であって、夫婦のどちらか

ねんいじょうけいぞく なるとし じゅうみんとうろく し ぜいとう たいのう
が1年以上継続して鳴門市に住民登録されており、市税等の滞納がな

かた
い方としております。

つぎ たたいにんぶ けんこうしんさ しえんじぎょう
次に、「多胎妊婦 健康診査 支援事業」についてであります。

にんぶけんしん ひょう じゅしんひょう こうふ かいぶん こうひ
妊婦健診の費用は受診票を交付することにより、14回分を公費

ふたん たたいじ にんしん にんぶ たんたいにんしん ばあい
負担していますが、多胎児を妊娠した妊婦は単胎妊娠の場合よりも、

ひんかい けんしん じゅしん すいしょう
頻回な健診の受診が推奨されているところです。

げんざい たたいにんぶ かた ついか こうぶ ちょうおんばけんさじゅしんひょう まい
現在、多胎妊婦の方に、追加で交付している超音波検査受診票2枚

くわ じ ひ じゅしん にんぶけんこうしんさ ひょう かい
に加え、自費で受診した妊婦健康診査の費用について、1回あたり5,0

えん じょうげん にん かい あら じよせい
00円を上限に、1人につき5回までを新たに助成いたします。

たたいにんぶ かた じ ひ じゅしん けんしんひょう
このことにより、多胎妊婦の方が自費で受診した健診費用、または、

じゅしんひょう しょう ひょうじゅんてき じゅしん じ き いがい じ ひ じゅしん けんしん
受診票を使用する標準的な受診時期以外に、自費で受診した健診

ひょう かい じよせい たいしょう
費用について、5回までが助成の対象となります。

つぎ にんしんはんてい じゅしんひょう じよせいじぎょう
次に、「妊娠判定 受診費用 助成事業」についてであります。

しみんぜいひかぜいせたい せいかつほごせたい ていしょとくせたい ぞく にんぶ
市民税非課税世帯または生活保護世帯の低所得世帯に属する妊婦

かた にんしんはんてい いるょうきかん じゅしん ひょう かい
の方が妊娠判定のため医療機関へ受診した費用について、1回あたり

まんえん じょうげん にん ねんかん かい じよせい
1万円を上限に1人につき年間2回まで助成いたします。

ていしょとくせたい にんぶ にんしんしょき じゅしんひょう ちゅうちよ
低所得世帯の妊婦が、妊娠初期の受診費用を躊躇することにより、

にんしん かくにん おく しえん かいしじき おく にんしん
妊娠の確認が遅れ、支援の開始時期が遅れることがないように、妊娠

はんていりょう かか けいぎいてきふたん けいげん
判定料に係る経済的負担を軽減いたします。

そうき じゅしん にんしんとどけで うなが にんぷ しんりしゃかいてき もんだい
早期の受診、妊娠届出を促すことにより、妊婦の心理社会的な問題

よういくかんきょう そうき はあく ひつよう しえん
や養育環境などのリスクを早期に把握し、必要な支援につなげます。

らん
5ページをご覧ください。

つぎ しゅうがくまえ こうこうせい かか しきく
次に就学前から高校生までに係る施策であります。

こそだ おうえんきゅうふきん
まず、『なると まるごと 子育て応援給付金』であります。

きゅうふきん こ しゅっさん こうこうせい いた かく
この給付金は、子どもの出産から高校生に至るまでの各ステージに

こそだ かにい けいぞくてき おうえん しゅるい いわ きんとう
おいて、子育て家庭を継続的に応援するため、5種類の祝い金等を

しきゅう
支給するものです。

はじめに、『しんせいじ しゅっさんいわ きん新生児 出産祝い金』についてであります。

しんせいじひとり あ まんえん しきゅう しゅっさんいわ きん けいぞくじっし
新生児一人当たり10万円を支給する出産祝い金を継続実施しま
す。

たいしょう
対象は、

① れいわ ねん がつ にち れいわ ねん がつ にちう しゅっしょうび しんせい
令和4年4月2日～令和5年4月1日生まれて、誕生日から申請

びほんし けいぞく じゅうみんとうろく こ
日まで本市に継続して住民登録のある子ども

② こ おや れいわ ねん がつ にち しんせいび なるとし
子どもの親のどちらかが令和4年4月1日～申請日まで鳴門市に

けいぞく じゅうみんとうろく
継続して住民登録があること

りょうほう ようけん ほう
の両方の要件をみたす方であります。

つぎ にゅうがくいわ きん しきゅうじぎょう
次に、『入学祝い金 支給事業』であります。

しょう ちゅうがっこうとう ねんせい にゅうがく こ せたい いわ
小・中学校等に1年生として入学する子どもがいる世帯にお祝いの

き も あらわ けいぎいてき しえん おこな こ ひとり
気持ちを表すとともに、経済的な支援を行うため、子ども1人あたり1

まんえん にゅうがくいわいきん しきゅう
万円の入学金を支給します。

つぎ なるとしばん じどうてあて とくれいきゅうふじぎょう
次に、『鳴門市版 児童手当 特例給付事業』についてであります。

くに せいどかいせい れいわ ねん がつしきゅうぶん じどうてあてとくれい
国の制度改正によって令和4年10月支給分より、児童手当特例

きゅうふ たいしょうがい せたい たい どうよう とくれいきゅうふ どうがく
給付の対象外となる世帯に対し、これまで同様、特例給付と同額であ

げつがく せんえん し どくじ しきゅう
る月額5千円を、市独自に支給します。

さいご こそだ おうえんてあてじぎょう
最後に、『子育て応援手当事業』についてであります。

こそだ かてい けいぎいてき しえん けいぞく こうこうせいそうとう こ
子育て家庭への経済的な支援を継続するため、高校生相当の子ども

よういく かてい たい ほんし どくじ こそだ おうえんてあて ひとり
もを養育する家庭に対し、本市独自の「子育て応援手当」として、一人

ねんかん まんえん しきゅう
あたり年間3万円を支給します。

らん
6ページをご覧ください

つぎ だい し ほいくりょう むしょうかじぎょう
次に、『第2子保育料 無償化事業』であります。

ふくすう こ よういくこそだ かてい しえん にんかほいくじょ
複数の子どもを養育する子育て家庭を支援するため、認可保育所、

にんてい えん りょうしゃふたんがく せたい しょとくかいそう きょうだい
認定こども園の利用者負担額について、世帯の所得階層や兄弟の

ねんれい だい し ほいくりょう むりょう
年齢にかかわらず、第2子についても保育料を無料とします。

つぎ びょうじ びょうごじ ほいく こういきりょう じょせいじぎょう
次に、『病児・病後児保育 広域利用 助成事業』であります。

びょうき かいふくき こ ほいく こんなん かてい たい びょうじ びょうご
病気の回復期にある子どもの保育が困難な家庭に対し、病児・病後

じ ほいくじぎょう りょう きんりんしちょう びょうじ びょうご じ
児 保育事業がより利用しやすくなるように、近隣市町の病児・病後児

ほいくしせつ りょう ばあい りょうりょう し しせつりょうりょう にち
保育施設を利用した場合にかかる利用料と、市の施設利用料1日

えん さがく じょせい
2,000円との差額を助成します。

つぎ こうこうせいとう いりょうひじょせいじぎょう
次に、『高校生等 医療費助成事業』であります。

こそだ かてい けいぎいてき しえん けいぞく こうこうせいそうとう こ
子育て家庭への経済的な支援を継続するため、高校生相当の子ども

にゅういん かか ほけんしんりょうぶん じ こふたんがく いちぶ じよせい
もの入院に係る保険診療分において、自己負担額の一部を助成しま
す。

ほんし けんないずいいち こそだ おうえん と し う か じんこうりゅうしゅつよくせい
本市が県内随一の子育て応援都市に生まれ変わり、人口流出抑制

じつげん き ふだ こそだ
を実現していくための切り札として、これらの「なると まるごと子育て

おうえん じぎょう きょうりよく すいしん
応援パッケージ事業」を強力に推進してまいります。

こそだ おうえん じぎょう かか せつめい いじょう
「なると まるごと 子育て応援パッケージ事業」に係る説明は以上で
す。

らん
7ページをご覧ください。

つぎ しんがた かんせんしょうたいさく だい だん せつめい
次に、新型コロナウイルス感染症対策 「第15弾」についてご説明い

たします。

はじめて、「しんがた新型コロナウイルスせつしゅじぎょうワクチン接種事業」であります。

3回目となるかいめ新型コロナウイルスしんがたワクチンの追加接種を、ついかせつしゅ安心・あんしん迅速・じんそく

えんかつ円滑に実施できるよう、じっし各医療機関かくいりょうきかんへのワクチン配送や、はいそうコールセンタ

うんえい一運営など接種体制せつしゅたいせいの整備せいびを行います。おこな

次に、「つぎ新型コロナウイルスしんがた対策 たいさく地域活動 ちいきかつどう推進補助金すいしんほじょきん」でありま

す。

しんがた新型コロナウイルスの全国的な感染拡大ぜんこくてきにより、本市かんせんかくだいにおいても、ほんし

さまざま様々な分野ぶんやに影響えいきょうがでてきております。この難局なんきよくを市民しみんの皆さんみなとと

のここに乗り越えていくため、市民グループしみんや各種団体かくしゅだんたい・企業きぎょうなどが主体しゅたいと

ちいきなった地域げんきを元気づけるための活動かつどうを支援しえんいたします。

つぎ らん
次に、8ページをご覧ください。

み す せつびとうし しえんじぎょう
「アフターコロナを見据えた 設備投資 支援事業」であります。

ほんじぎょう れいわ ねんど がつほせいよさん み す
本事業は、令和3年度12月補正予算にて、アフターコロナを見据え、

あら せつびとうし じっし ひょう いちぶ ほじょ せいど じっし
新たに設備投資を実施する費用の一部を補助する制度として実施して
いるところです。

しんがた かんせんしょう いぜん もうい ふ れいわ
新型コロナウイルス感染症は、依然として猛威を振るっており、令和

ねんどとうしょよさん じもときぎょうとう けいぞく しえん
4年度当初予算においても、地元企業等を継続して支援いたします。

ほじょたいしょう せつびとうし ないよう
補助対象となる設備投資の内容といたしましては、アフターコロナ

み す あら どうにゅう きかいそうち き ぐ びひん どうがい
を見据えて新たに導入する「機械装置」や「器具備品」などとし、当該

せつび どうにゅう よう ひょう まんえんいじょう まんえんみまん ばあい まんえん
設備の導入に要した費用が20万円以上100万円未満の場合は5万円

まんえんいじょう まんえん ばあい まんえん ほじょ
を、100万円以上200万円までの場合は10万円をそれぞれ補助いた

します。

つぎ じゅうたくあんしん しえんじぎょう
次に、「住宅安心リフォーム 支援事業」についてであります。

しんがた かんせんしょうかくだい しぎい こうとう ちょうたつちえん
新型コロナウイルス感染症拡大により、資材の高騰や調達遅延など

えいぎょう う じゅうたくかんれんさんぎょう じゅちゅうきかい かくだい はか もくてき
の影響を受ける住宅関連産業の受注機会の拡大を図ることを目的と

ほじょせいど かくじゅう
して、補助制度を拡充いたします。

じぎょうけいぞくおよ こようい じとう じぎょうしゃしゅうちゅう
事業継続及び雇用維持等につなげていただくために、事業者集中

おうえんきかん こうじ たい ほじょきん よさん まんえん
応援期間として、リフォーム工事に対する補助金の予算を200万円

ぞうがく まんえん やく けんぶん
増額し、1,000万円(約50件分)とします。

ちいきけいざい かつせいか す あんぜん あんしん じゅうかんきょう こうじょう
地域経済の活性化とともに、住まいの安全・安心や住環境の向上を

はか しみん みなさま あんしん す つづ
図ることで市民の皆様が安心して住み続けていただけるまちづくりを

め ぎ
目指してまいります。

つづ かつりよく みりよく
続きまして、「うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり」について

であります。

らん
9ページをご覧ください。

きぎょうゆうちとう かつよう ちいきけいざいかっせいか しえんぎょうむ
「企業誘致等を活用した 地域経済活性化 支援業務」についてであ

ります。

きぎょうゆうち たよ せいちょういよく じもときぎょう たいせつ
企業誘致だけに頼るのではなく、成長意欲のある地元企業を大切に

そだ ちいきけいざいかっせいか すいしん
育てることで地域経済活性化を推進する「エコノミックガーデニング

なると いっかん じっし じもときぎょう
鳴門」の一環として実施するものです。これまで地元企業だけでは

かいけつ かだい とし ぶ しがいじぎょうしゃ も ぎじゅつ
解決できなかった課題を、都市部などの市外事業者が持つ技術・ノウ

じんみやく かつよう はんろかくだい か すいしん はか
ハウ・人脈を活用することにより、販路拡大やIT化の推進などを図って

まい
参ります。

ぐたいてき ちゅうきじぎょうせんりやく さくてい じもときぎょう とし ぶ
具体的には、中期事業戦略の策定や、地元企業と都市部などの

しがいじぎょうしゃ かいさい こべつしょうだんかい
市外事業者とのビジネスマッチングイベントの開催、個別商談会・

そうだんかい じっし しない しんしゅつ けんとう きぎょう しきつたいおう
相談会の実施のほか、市内への進出を検討する企業の視察対応など

じっし
を実施いたします。

らん
10ページをご覧ください。

なる とし のうぎょうけいえいきばんきょうか しえんじぎょうほじょきん
「鳴門市 農業経営基盤強化 支援事業補助金」であります。

ちゅうちようきてき のうぎょう しんこう はか にな て いくせいかくほ む
中長期的な農業の振興を図るためには、担い手の育成確保に向け

せいさんりゅうつう ごうりか こうりつか すす じゅうよう
て、生産流通の合理化や効率化を進めていくことが重要です。

せいさんしゃそしき あんていてき こうりつてき けいえい おこな けいえい
このことから、生産者組織が安定的かつ効率的な経営を行い、経営

きばん きょうか けいかくてき すす とりくみ しえん ほんしのうぎょう
基盤の強化を計画的に進めていく取組を支援することで、本市農業の

じぞくはってん はか あら ほじょせいど そうせつ
持続発展を図るため、新たな補助制度を創設いたします。

ぐたいてき のうぎょうきょうどうくみあいとう じっし のうぎょうしゃ きょうどう りょう
具体的には、農業協同組合等が実施する「農業者が共同で利用す

きかい せつび どうにゆうとう たいしょう まんえん じょうげん じぎょうひ
る機械や設備の導入等」を対象に、100万円を上限として事業費の1

ほじょ せいど
／2を補助する制度としております。

つぎ なるとし すいさんしげん い じたいさくじぎょう ほじょきん
次に、「鳴門市 水産資源 維持対策事業 補助金」であります。

かいすいおん じょうしょう しゅうへんかいいき かいめんかんきょう へんか ほんし
海水温の上昇などにより、周辺海域の海面環境が変化し、本市の

すいさんぎょう えいきょう で じょうきょう すいさんしげん かくほ
水産業にも影響が出ている状況となっており、水産資源の確保は、

ほんし ほこ すいさんぎょう しょうらい む かだい
本市の誇る水産業の将来に向けた課題のひとつとなっております。

しない かくぎょきょう と く しゅびょうほうりゅうじぎょうとう しえん
このことから、市内の各漁協が取り組む種苗放流事業等への支援

おこな そくしん はか ほんしすいさんぎょう じぞくてき はってん うなが
を行い、その促進を図ることにより、本市水産業の持続的な発展を促

あら ほじょせいど そうせつ
すため、新たな補助制度を創設いたします。

ぐたいてき しないぎょきょう じっし しゅびょうほうりゅうじぎょう すいつちようさ
具体的には、市内漁協が実施する「種苗放流事業」や「水質調査」、

「わかめへの施肥事業」等に対し、30万円を上限として、事業費の1／

2を補助する制度としております。

11ページをご覧ください。

「サイクルツーリズムを中心とした地域活性化推進事業」についてで
あります。

2025大阪・関西万博や大鳴門橋自転車道の開通を見据え、大
鳴門橋の自転車道を想定した広域サイクリングコースの検討や、サイ

クリストの受け入れ環境の充実を進めるとともに、国における「地域

活性化起業人制度」に基づき、民間企業が持つ専門知識などのノウハ

ウを活用しながら、サイクリングを中心としたアウトドアスポーツ等による

地域活性化・観光振興に取り組めます。

らん
12ページをご覧ください。

みち えき せいびじぎょう ほんじぎょう
「道の駅『くるくる なると』整備事業」についてですが、本事業は、

こうりゅうじんこうかくだい ちいきかっせいか はか もくてき おおづまち こくどう
交流人口拡大と地域活性化を図ることを目的として、大津町の国道11

ごうぞ みち えきせいび おこな
号沿いに、道の駅整備を行うものです。

さき せつめい げんざい けいかく
こちらについては、先ほどもご説明しましたとおり、現在、計画

よていち けんちくこうじとう じゅんちょう しんちよく かんけいきかん
予定地においては建築工事等が順調に進捗しており、関係機関との

ちょうせい ととの れいわ ねん がつ にち ひらきえき けってい
調整が整ったことから、令和4年4月29日に開駅することと決定いた

しました。

みす こうりゅうじんこうかくだい きよてん しこく
アフターコロナを見据えた交流人口拡大の拠点として、また、四国の

げんかんぐち みち えき しこく にしにほん だいひょう みち
玄関口にある道の駅として、四国、そして西日本を代表するような道の

えき めぎ
駅を目指してまいります。

らん
13ページをご覧ください。

つぎ ちいきさんぎょうかつせいか なると すいしんじぎょう
次に、「地域産業活性化『鳴門モデル』推進事業」についてであり
ます。

しょく かいぎょう みち えき
「食のテーマパーク」として開業する「道の駅『くるくる なると』」に

し あら ちいきしげん はくつつ じ ぼさんびん
おいて、まだまだ知られていない新たな地域資源の発掘や地場産品を

かつよう しんしょうひんかいはつ はんばいはんろかいたく と く しょく かんこう
活用した新商品開発・販売販路開拓などにも取り組み、「食」、「観光」、

のうすいさんぶつ ほんし も いちだん ひ だ
「農水産物」といった本市の持つポテンシャルを一段と引き出すことで、

ちいきかつせいか きばくざい かつよう かんが
地域活性化の起爆剤として活用したいと考えております。

ちいきしょうしゃきのう あわ も みち えき ほんし のうぜい
この地域商社機能を併せ持つ「道の駅」と、本市の「ふるさと納税

じぎょう れんけい しょうひんかいはつりよく はんばい くわ
事業」を連携することで、商品開発力や販売ノウハウに加え、ふるさと

のうぜい はんばい じょうほうはっしん つよ い そうじょうこうか
納税の販売・情報発信チャンネルとしての強みを生かした相乗効果によ

あら ちいきさんぎょうかつせいか かたち なると すいしん
り、新たな地域産業活性化の形「鳴門モデル」を推進してまいります。

なるとし みりよく ぜんこく とど ちいきしげん しゅうえきか
鳴門市の魅力为全国へ届けるとともに、地域資源の収益化サイクル

こうちく ちいきさんぎょうぜんたい かつせいか きふきんがく ぞうがく はか
を構築し、地域産業全体の活性化と寄附金額の増額を図ります。

つづ えがお い かん
続きまして、「ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり」についてで

あります。

らん
14ページをご覧ください。

しょうねんだんかつせいかじぎょう
「スポーツ少年団活性化事業」についてであります。

ちいき こ かつどう ば おお やくわり
地域における子どもたちのスポーツ活動の場として、大きな役割を

は しょうねんだん とうろくしゃすう しょうしか えいきょう
果たしているスポーツ少年団の登録者数は、少子化の影響などにより

ねんねんげんしょう
年々減少しております。

だんいんすう かくほ しどうしゃいくせい りょうめん しょうねんだん
そこで、団員数の確保や、指導者育成の両面からスポーツ少年団の

かつせいか はか
活性化を図ってまいります。

とくしまし けんりつ けんせつ よてい しぶんかかいかん うんよう
徳島市で県立ホールの建設が予定されており、「市文化会館」の運用

えいきょう で かんが
に影響が出てくると考えております。

なるとしぶんかかいかん たいしんか ますだけんちくおよ し
そこで、「鳴門市文化会館」の耐震化について、増田建築及び「市

ぶんかかいかん もっと ゆう きょうとだいがく こうがくけんきゅう
文化会館」について最もノウハウを有している、「京都大学 工学研究

しつ こんご たいしんかしゅほうおよ ひよう ちょうさ けんきゅうとう
室」に、今後の耐震化手法及び費用について調査、研究等していただ

ほんし たいしんか しゅほう けんとう
き、本市にふさわしい耐震化の手法について検討してまいります。

らん
16ページをご覧ください。

こうそうすいしんじぎょう
「GIGA スクール構想推進事業」であります。

ほんじぎょう こうないこうそく せいび ひとり だい
本事業については、これまで校内高速ネットワーク整備や1人1台タ

たんまつ かんきょうせいび おこな
ブレット端末などのICT環境整備を行ってまいりました。

れいわ ねんど すいしん はか ろうきゅうか
令和4年度においては、さらなる推進を図るため、老朽化がすすんで

しよくいんしつない がくしゅうけい こうしん おこな
いる職員室内の学習系ネットワークについて更新を行います。

くわ あら つうきゅうきょうしつ ほけんしつ こうそく せいび おこな
加えて、新たに通級教室や保健室などに高速ネットワーク整備を行

ほうかご ちょうききゅうぎょうじ ほうかごじどう りょうじどう
うとともに、放課後や長期休業時の放課後児童クラブ利用児童の

がくしゅうきかい かくほ ほうかごじどう こうないこうそく
学習機会を確保するため、放課後児童クラブに、校内高速ネットワーク

えんちょう
を延長します。

じどうせいと きょういん かつようしえん きき
また、児童生徒や教員へのICT活用支援として、機器のメンテナン

こしょうじ たいおう ひつよう おう じゅぎょうしえん おこな しえんいん
スや故障時の対応、必要に応じた授業支援を行うICT支援員を

さくねんど ひ つづ はいち
昨年度に引き続き配置します。

こ と ま かんきょう ひそ はいりよ
さらに、子どもたちを取り巻くネット環境に潜むリスクに配慮し、

きょういん こ たんまつ えつらん きのお
「教員が子どもの端末をリアルタイムで閲覧できる機能」や「アプリロッ

きのお どうさい じゅぎょうしえん こうちく こ
ク機能」などを搭載した「授業支援システム」を構築し、すべての子ども

が、いかなる状況下においても安心して学習が行えるよう整備を行
ってまいります。

17ページをご覧ください。

次に、「鳴門まちなか絵本図書館」についてであります。

市内のいろいろな場所で本と出会い、幼少期から気軽に本に触れら

れる機会や環境づくりとして、「鳴門まちなか絵本図書館」を創出しま
す。

子どもの読書活動は、豊かな心を育むだけではなく、将来の学力

向上にもつながる重要なものであり、現在策定中の「第4次子どもの

読書活動推進計画」においても、家庭、地域、学校等において、子ども

の読書活動を推進することとしています。

こ おやこづ かた きがる た よ
子どもたちや親子連れの方が気軽に立ち寄り、まちのあちらこちら

えほん たの しゅし さんどう しない
で、絵本を楽しむことができるよう、趣旨に賛同していただける市内の

てんぼ じぎょうしょう ぼしゅう ちいき えほん じつげん
店舗・事業所等を募集し、地域ぐるみで「絵本のまち なる」との実現を

め ぎ
目指します。

しょねんど しょ かいせつ もくひょう どうろく てんぼとう
初年度は、30か所の開設を目標としており、登録いただいた店舗等

どうろくしょう かか し こうしき
には、登録証としてタペストリーを掲げていただくとともに市公式ウエ

どう しゅうち おこな
ブサイト等で周知を行います。

えほんとしょかん じぞくかのう えほん りゅうつう
また、まちなか絵本図書館における持続可能な絵本の流通システム

し ない こうこうせい だいがくせい れんけい えほんかいしゅう せいさく
として、市内の高校生・大学生と連携して、絵本回収ボックスを制作

しやくしょう せっち しみん みなさま えほん きぞう つの
し、市役所等に設置して、市民の皆様から絵本の寄贈を募ってまいり

ます。

つぎ がっこうとしょかん すいしんじぎょう
次に、「学校図書館 サポート推進事業」についてであります。

としょかん ほんし へいせい ねんど はやしき
図書館サポーターにつきましては、本市では、平成20年度に林崎

しょうがっこう はじ せっち いこう じょじょ はいちこう ふ へいせい ねんど
小学校で初めて設置され、以降、徐々に配置校を増やし、平成28年度

なるとしない ぜんしょうちゅうがっこう はいち
からは鳴門市内の全小中学校に配置しております。

としょかん みなさま はたら としょしつ かんきょうせいび すす
図書館サポーターの皆様の働きによって、図書室の環境整備が進

としょしつ か だ きつすう ぞうか どくしょ した じどうせいと ふ
み、図書室の貸し出し冊数が増加し、読書に親しむ児童生徒が増えて

さら すいしん としょかん はいちじかん
きていることから、更に推進するため、図書館サポーターの配置時間を

ふ
増やします。

れいわ ねんど ぜんしょうちゅうがっこう そうはいちじかん じかん
令和3年度には全小中学校での総配置時間が5,346時間だったと

れいわ ねんど じかん ぜんねんど じかんぞうか
ころ、令和4年度は7,680時間とし、前年度から2,334時間増加しま

す。

としょしつ かんきょうせいび じどうせいと どくしょかつどう いっそう
これにより、図書室の環境整備や、児童生徒の読書活動をより一層

すいしん
推進してまいります。

つづ あんしん かいてき す よ
続きまして、「しっかり 安心・快適 住み良いまちづくり」についてで

あります。

らん
18ページをご覧ください。

しんちようしゃせいびじぎょう
「新庁舎整備事業」についてであります。

ひ つづ しんちようしゃせいび きほんりねん しみん あんぜんあんしん
引き続き、新庁舎整備の基本理念である、「市民の安全安心をまも

きずな なるど ちようしゃ じつげん む れいわ ねん がつ しゅんこう
り、絆をはぐくむ鳴門らしい庁舎」の実現に向け、令和6年1月の竣工

め ぎ せいび すす
を目指して整備を進めてまいります。

れいわ ねんど おも と く さくねん がつ と く
令和4年度の主な取り組みといたしましては、昨年2月から取り組ん

じっしせつけい ほんねん がつ さくてい よく がつ けんせつ
でおります実施設計を本年4月に策定し、翌5月からいよいよ建設

こうじ ちゃくしゅ
工事に着手いたします。

れいわ ねんどちゅう じばんこうじ き そ ころうじ めんしんそう ふく ていそうかい
令和4年度中は、地盤工事や基礎工事、免震層を含む低層階の

くたいこうじ すす よてい
躯体工事を進める予定です。

とくしまきた しょゆう たてものおよ とち しゅとく お すす
また、JA徳島北が所有する建物及び土地の取得を推し進めるととも

しゅうみつしょか せっち む せっけい おこな
に、集密書架の設置に向けた設計を行うこととしています。

らん
19ページをご覧ください。

じぎょう
「トリプルR事業」についてであります。

トリプル R とは、「レイワ(Reiwa)」-「ロード(Road)」-「リペア

りやくしょう しみんせいかつ ひつようふ かけつ
(Repair)」の3つの R からなる略称で、市民生活にとって必要不可欠

どうろ けんぜんか すいしん じぎょう
な道路の健全化を推進する事業であります。

どうろ なか とく ほそうほしゅう じゅうてんてき じっし つぎ
道路の中でも特に、舗装補修を重点的に実施することとし、次の3つ

よさん ほそうけんぜんか と く
の予算で、舗装健全化に取り組めます。

め ろ めんせいじょうちょうさけっか ふ さくてい どうろほそうしゅうぜん
1つ目は、路面性状調査結果を踏まえ策定した「道路舗装修繕

けいかく もと しゅう しどう ほそうほしゅう まんえん め
計画」に基づく『主要な市道の舗装補修』に6,500万円、2つ目は、

じもと じ ち しんこうかい ゆうびんきょくとう よ じょうほう もと どうろたんとうしゃ
地元自治振興会や郵便局等から寄せられた情報を基に道路担当者

かいぎ かいさい きんきゅうせい はんだん じっし たしどう ほそうほしゅう
会議を開催し、緊急性を判断して実施する『その他市道の舗装補修』

まんえん め きんきゅう よう ほそうほしゅう そっこう
に3,500万円、3つ目は、『緊急を要する舗装補修』や側溝などの

どうろこうぞうぶつ ほしゅう まんえん よさんけいじょう どうろ けんぜんか はか
道路構造物の補修に5,400万円を予算計上し、道路の健全化を図っ

てまいります。

ほんじぎょう れいわ ねんど ねんかん め ど しゅうちゅうてき と く
なお本事業は、令和4年度より4年間を目途として、集中的に取り組

おこな
みを行うこととしております。

らん
20ページをご覧ください。

つぎ こうきのうしやうぼうつうしんしれい しょうぼうきゅうきゅう むせん
次に、「高機能消防通信指令システム・消防救急デジタル無線シス

ぜんめんこうしんせいびじぎょう
テム全面更新整備事業」であります。

ほんししょうぼうほんぶ こうきのうしょうぼうつうしんしれい どうにゆうかいし
本市消防本部の「高機能消防通信指令システム」は、導入開始から

ねん けいか しょうぼうきゅうきゅう むせん どうじ ぜんめん
10年が経過したことにより、「消防救急デジタル無線」と同時に全面

こうしんせいび おこな じんそく てきかく ばんつうほう じゅしん しょうぼうきゅうきゅうたいせい
更新整備を行い、迅速で的確な119番通報の受信と、消防救急体制

きょうか はか
の強化を図ってまいります。

きんきゅうつうほう どうにゆう あわ おこな
また、「NET(ネット)119緊急通報システム」の導入も併せて行いま

ちょうかく げんごきのう しょう ほう
す。これは、聴覚や言語機能に障がいのある方が、スマートフォンや

けいたいでんわ きのう りよう かんたん そうさ ばんつうほう
携帯電話のインターネット機能を利用し、簡単な操作で119番通報が

できるシステムです。

じせだい しょうぼうきゅうきゅう どうにゆう ひ つづ
これら次世代の消防救急システムを導入することにより、引き続

しみん あんぜん あんしん せいかつ まも
き、市民の安全・安心な生活を守ります。

らん
21ページをご覧ください。

な る と し き たじまちょう きょうどうじょうすいじょう せいびじぎょう
「鳴門市・北島町 共同浄水場 整備事業」であります。

きゅうよしのがわ はさ たいがん い ち ほんし きたまちょう じょうすいじょう
旧吉野川を挟んだ対岸に位置する本市と北島町の浄水場は、

ろうきゅうか すす たいしんせいのお かだい すいどうこういきか けんとう
老朽化が進み、耐震性能などに課題があるため、水道広域化の検討・

きょうぎ すす きょうどうじょうすいじょう こうしん
協議を進め、共同浄水場として更新することといたしました。

じぎょうきかん れいわ ねんど れいわ ねんど やく ねんかん れいわ ねん
事業期間は、令和3年度から令和8年度の約6年間で、令和3年10

がつ ちゃっこうご れいわ ねんど ぜんめんきょうようかいし め ぎ じぎょう すす
月に着工後、令和8年度の全面供用開始を目指し、事業を進めていま
す。

せつけい せこう じぎょうひ やく おくえん なるとしぶん やく おくえん み こ
設計・施工の事業費は約115億円、うち鳴門市分は約81億円を見込

れいわ ねんど とうしょよさん きょうどうじょうすいじょう せいびじぎょうひ
み、令和4年度の当初予算では、共同浄水場の整備事業費として、22

おく まんえん けいじょう なるとしぶん おく まんえん
億6,182万円を計上し、うち鳴門市分は16億3,568万円となっていま
す。

さいご やくどう つく
最後に、「おおきく躍動 みんなで創る まちづくり」でございます。

らん
22ページをご覧ください。

だいななじなるとしそうごうけいかくさくていじぎょう
「第七次鳴門市総合計画策定事業」についてであります。

げんこう だいろくじなるとしそうごうけいかく きほんこうそうおよ きほんけいかく れいわ
現行の「第六次鳴門市総合計画」は、基本構想及び基本計画が令和

ねんどまつ しゅうりょう れいわ ねんど げんこうけいかく
3年度末で終了となりますが、令和4年度については、現行計画を

どうしゅう じっしけいかく かくしさく しんちよくかんり おこな れいわ
踏襲しつつ、実施計画により各施策の進捗管理を行うとともに、令和

ねんど しき だいななじなるとしそうごうけいかく さくてい すす
5年度を始期とする「第七次鳴門市総合計画」の策定を進めてまいりま
す。

そうごうけいかく かくしゅぶんやべつ けいかく しさく きほん ちほう
「総合計画」は、各種分野別の計画や施策の基本となる、「地方

じちたい さいじょういけいかく いち しょうらい きほん
自治体の最上位計画」として位置づけられ、将来のまちづくりの基本

ししん
指針となるものであります。

けいかくさくてい しみん ちいきこんだんかい
計画策定にあたっては、市民ワークショップや地域懇談会などを

かいさい しみん みなさま いけん うかが しみん しゅやく
開催し、市民の皆様のご意見をお伺いしながら、市民が主役のまちづ

じつげん む じっこうせい そうごうけいかく さくてい すす
くりの実現に向けた、実効性ある総合計画の策定を進めてまいります。

つぎ なるとし ちいきこうきょうこうつうけいかく さくていじぎょう
次に、「鳴門市 地域公共交通計画 策定事業」についてであります。

こうれいか しんてん ともな うんてんめんきょしょうへんのうしゃ ぞうか しゃかいこうぞう へんか
高齢化の進展に伴う運転免許証返納者の増加や、社会構造の変化

はいけい ちいきこうきょうこうつう と ま かんきょう へんか たようか
を背景とした地域公共交通を取り巻く環境の変化など、多様化するニ

たいおう こんご ほんし めぎ こうきょうこうつうあみ すがた
ーズに対応するため、今後の本市が目指すべき公共交通網の姿を

めいかくか やくわり は なるとし ちいきこうきょう
明確化する「マスタープラン」としての役割を果たす「鳴門市 地域公共

こうつうけいかく さくてい すす
交通計画」の策定を進めてまいります。

けいかくさくてい ほんし さいじょういけいかく そうごうけいかく
計画策定にあたっては、本市の最上位計画である「総合計画」や、ま

じゅうよう けいかく と しけいかく およ りっち
ちづくりの重要な計画である「都市計画マスタープラン」及び「立地

てきせいかけいかく せいごうせい はか ちいき いけんこうかんかい
適正化計画」との整合性を図るとともに、地域ごとの意見交換会や

りようしゃ たい ちょうさ じっし ちいき りようしゃ みなさま よ そ
利用者に対するニーズ調査を実施し、地域や利用者の皆様に寄り添っ

ちいきこうきょうこうつう めぎ けいかくさくてい と く
た地域公共交通を目指し、計画策定に取り組んでまいります。

つぎ と し けいかく みなお およ り っ ち て き せ い け い か く さ く て い
次に、「都市計画マスタープランの見直し及び立地適正化計画 策定

ぎょうむ
業務」についてであります。

と し けいかく し と し けいかく かん きほんてき ほうしん
都市計画マスタープランは、市の都市計画に関する基本的な方針を

さだ
定めたものです。

へいせい ねん がつ さくてい しゃかいけいざいじょうせい へんか ともな へいせい
平成11年3月に策定したのち、社会経済情勢の変化に伴い、平成2

ねん がつ みなお じっし けいかくきかん れいわ ねんど もくひょうねんじ
3年3月に見直しを実施しており、計画期間は令和12年度を目標年次

ねん おおむ ねんていど かい いてい おこな
とする20か年としておりますが、これまで概ね10年程度で改定を行

ってきております。

ほんじぎょう じんこうげんしょう しょうしこうれいか しゃかいけいざいじょうせい へんか
本事業では、人口減少や少子高齢化の社会経済情勢の変化や

ぼうさい かんてん ふ じぞくはってんかのう じつげん め ぎ
防災の観点などを踏まえ、「持続発展可能なまちづくりの実現」を目指

と し けいかく みなお おこな きよじゅう と し
し、「都市計画マスタープラン」の見直しを行うとともに、居住・都市

きのう ゆる りっちゅうどう そうごうてき しさく てんかい はか
機能の緩やかな立地誘導など、総合的な「まちづくり施策」の展開を図

り ち て き せ い かけ いかく れ い わ ね ん ど れ い わ ね ん ど ま つ め ど
るため、「立地適正化計画」を令和3年度から令和4年度末までを目途

さ く て い
として策定するものです。

ほんじつ しょうかい じぎょう いじょう はいふ よさん
本日ご紹介する事業は以上でございますが、配布した「予算の

が い ょう こ ん かい しょうかい し ゅ ょう し さ く た す う け い ざ い
概要」には、今回ご紹介しきれなかった主要な施策について、多数掲載

さ ん しょう お も
しておりますので、ぜひこちらをご参照いただければと思います。

い じ ょう き し や かい けん わ た し せ つ め い お
以上で、記者会見にあたりまして 私からの説明を終えさせていた

だきます。